

市川から

原発ゼロを発信し、自然エネルギー先進市へ

9月市議会 一般質問



宮久保の塚ノ上公園を測定、入口で0.3μsvを超えました(写真)
また、9月15日には曾谷地域の公園も測定。山王公園入口でも地上50cmで、0.46μsvありました。こうしたきめ細かい測定を行い、除染が必要です。

私は9月市議会の一般質問で、市長の政治姿勢として、原発の認識や震災対策、子どもへの権利について等を質問しました。今回は、放射能対策などの答弁内容を紹介します。

市が除染方針を決定

原発の危険性は明らかになりました。私は、市川から原発ゼロを発信し、自然エネルギー先進市を目指す考えを市長に問いました。市長は答弁に立たず、企画部長が「福島原発事故で市民は不安を感じ、安全信頼もゆらいだ。原発への依存度を可能な限り減らすのが望ましい」と答弁。再度、撤退の考えを問いましたが明言しません。この間、共産党や住民が独自測定を行い、市に除染対策を要求してきました。市も国の方針が示されたことを受け9月2日、年間1μSV(毎時0.26μsv)を基準に除染する方針を決定。1m、50cmいずれかで0.26以上であれば低減措置をする。

除染費用は東電が負担すべき

除染費用について、市は「人災が原因であるものについては原因者である東京電力が原則負担すべきと考えている」と述べました。里見公園など5つの公園が0.3以上なので除染対象にしていることを明らかにしました。しかし、測定は公園中央など1ヶ所の平均値で、側溝、雨どいなど局所的に線量が高い「ミニ・ホットスポット」の部分的な測定はしないとなりました。

学校給食の安全対策



放射能汚染対策で、市場には安全な食品しか流通しないとされてきました。しかし、汚染された牛肉が市内の学校給食で使われ、保護者から不安の声が殺到しました。市は「今後、牛肉の使用は当面自粛し、食材の産地情報を提供する。市独自に野菜・果物・豚肉・鶏肉等の放射性物質の検査を実施。その結果をHPで公表する」と答弁しました。

「自然エネルギーへの転換を積極的に市民に発信する」と答弁

企画部長は「25%を目標とした節電、同時に公共施設の太陽光発電、ハイブリッド車の普及を進めてきた。平成12年から節電対策など自然エネルギーの転換を着実に進めていくことが本市に必要なことである」との認識を示し、「今後、積極的に取り組みを市民に発信していく」と答弁しました。



日本共産党は5月25日、市長に放射線量の測定や除染対策を申し入れました。6月市議会では、市独自の除染方針と対策の強化を要求。9月議会ですべての学校や保育園、幼稚園、公園などきめ細かい測定と除染、市民との協働による放射能対策、そのためのパンフレット作成も提案しました。

9月市議会

市立稻荷木幼稚園を廃園

今後も公立幼稚園8園中、基幹3園残し、順次廃園を検討

9月市議会に市長は市立稻荷木幼稚園を廃止する条例案を提出、議員の賛成多数で可決されました。日本共産党は本会議で反対討論を行いました。反対理由を紹介します。

審議会を非公開で行う

昨年11月、幼児教育振興審議会の答申を受けて廃止計画が出されました。しかし、審議は非公開、議事録もすぐには公開しない。職員、保護者の意見も聞かず、市民意見募集しないなど市民感情を無視しています。

コスト最優先の廃園計画

廃園の理由に「就園率が低い。園児一人当たりの経費がかかりすぎる」と、経費のかかる園から順番に廃園する計画。少人数学級、園区の撤廃など様々な工夫をすれば就園率を上げることができ、公立幼稚園8園のPTA会長連名で、市長に「先生との信頼関係もあり、素晴らしい幼児教育を担っている幼稚園を廃園する理由がない」と訴える要望書を2度提出。また、廃園でなく存続を求める

公立幼稚園を「私立の補充」

市は「公立幼稚園は私立の補充」としていません。公立も私立も共



写真は市内の公立幼稚園、市HPから掲載

議会請願が2万5千筆提出されました。公立・市立幼稚園がともに市民の多様な要求に応える方向こそ求められているのに順次廃園では『文教都市いちかわ』が泣きます。



地方議員年金 6月から廃止



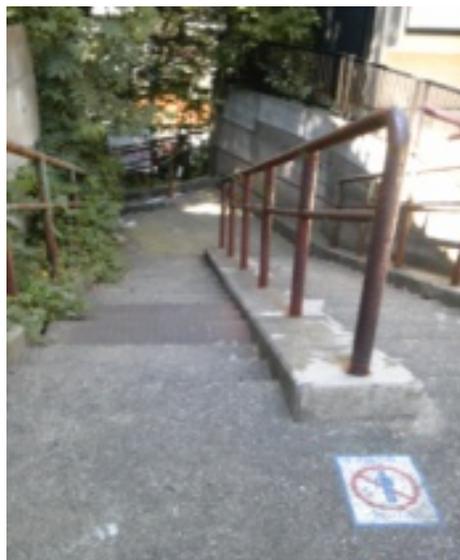
政府は、市町村合併に伴う議員数激減などで破綻が想定されている地方議員年金制度を今年6月から廃止。12年間の在職で他の公的年金と併せて受給でき

るので「特権的」との批判がありました。市川市も議員年金を支えるため公費負担を行ってきたものです。市議会は議会に出ると一人一日3千円が支給される費用弁償も昨年廃止し、年間700万円の節約。日本共産党は費用弁償は20年以上前から受け取っていません。

市政アンケートの回答600通を超える



昨年を上回る市政アンケートの回答がみなさんから寄せられています。11月に、市長に予算要望を行う予定です。



曾谷地域の「街灯を設置し明るくしてほしい」との要望を受け現地調査を実施（写真）

編集後記

お気軽に相談を

仕事くらしの悩み

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)

市川市で100歳以上の高齢者が5年前と比べ倍の106人になりました。また、市では還暦を迎えた人を祝う還暦式を10月に実施。元気な高齢者が増えることは喜ばしいことです。一ヶ月続いた9月議会も10月3日閉会。私は本会議で一般質問を1時間。決算特別委員会で12日から4日間、10年度決算を集中的に審査。市政全般にわたり83項目、延べで8時間以上、委員会でも論戦のやり取りを行い、実りの多い議会となりました。